

デジタルハリウッド大学
2020年度 一般入学試験 A方式

日本史 [60分]

【 注 意 事 項 】

1. 試験監督の指示があるまでは、問題冊子は開かないこと。
2. 試験監督から指示があったら、解答用紙に氏名・受験番号を正確に記入し、受験番号マーク欄にも受験番号を正確にマークすること。
3. 試験開始の合図後、この問題冊子を開き、20ページ(白紙ページ含む)揃っているか確認すること。
4. 乱丁、落丁、印刷不鮮明などがある場合は、手を挙げて試験監督に知らせること。
5. 解答は、すべて別紙の解答用紙の解答欄にマークすること。
6. 試験開始から終了までの間は、試験教室から退出できません。
7. 不正行為を行った場合は、その時点で受験の中止と退室を指示され、同日受験したすべての科目の成績が原則無効となる。
8. 解答用紙は試験終了後、回収される。問題冊子は持ち帰っても良い。

第1問 次のA～Dの文章を読み、あとの各問いに答えよ。

A 律令国家が形成され、国家意識が高まった奈良時代には、貴族の間では、教養として①漢詩文をつくることが重んじられ、公文書も漢文で書かれた。また、天皇による国家統治の由来を明確にし、国家の形成と発展の過程を示すために ②『古事記』や『日本書紀』の編纂が行われ、諸国の特産物や地名の由来、伝承などを記した ③『風土記』も編纂された。

問1 下線部①に関して、現存する最古の漢詩集を、次のうちから選べ。

- (1)『懐風藻』 (2)『凌雲集』 (3)『万葉集』 (4)『性靈集』

問2 下線部②の編纂と直接関係のない人物を、次のうちから選べ。

- (1)太安万侶(安麻呂) (2)石上宅嗣 (3)舎人親王 (4)稗田阿礼

問3 下線部③に関して、現存する『風土記』の中で、ほぼ完全な形で残っているものを、次のうちから選べ。

- (1)『豊後国風土記』 (2)『常陸国風土記』 (3)『播磨国風土記』
(4)『出雲国風土記』

B 平安時代の中期になると、国家仏教の統制力が弱まり、④聖と呼ばれる民間布教者が現れた。また、貴族や庶民の間では、⑤阿弥陀仏を信じて極楽浄土への往生を願う浄土信仰が広まった。やがて、⑥この風潮は上級貴族の間にも広がり、阿弥陀堂が盛んにつくられるようになった。

問4 下線部④に関して、10世紀半ばに、諸国を遊行して民衆に念仏の功德を教えた人物を、次のうちから選べ。

- (1)一遍 (2)貞慶 (3)空也 (4)定朝

問5 下線部⑤に関して、『往生要集』を著し、念仏による極楽往生の方法を説いた人物を、次のうちから選べ。

- (1)源信 (2)忍性 (3)法然 (4)慶滋保胤

問6 下線部⑥に関する記述として適切でないものを、次のうちから選べ。

- (1)北条重時は極楽寺を建立したため、極楽寺殿と呼ばれた。
(2)11世紀半ば以降、末法思想が流行し、上級貴族も浄土信仰に傾いた。
(3)藤原道長は阿弥陀堂を中心とする法成寺を建立した。
(4)藤原頼通は宇治に阿弥陀堂を建立し、その扉と壁に阿弥陀来迎図を描かせた。

C 鎌倉時代には、中国との間に正式な国交は開かれなかったが、私的な貿易や⑦僧侶の留学などを通じて、⑧中国から日本に新しい文化が流入した。元が建国されると、⑨南宋から多くの禅僧が来日し、新しい文化の形成に大きな役割を果たした。

問7 下線部⑦に関して、鎌倉時代の僧侶についての記述として最も適切なものを、次のうちから選べ。

- (1)親鸞は阿弥陀仏の誓いを信じて、南無阿弥陀仏の念仏を唱えれば、死後は平等に極楽浄土に往生できるという専修念仏を説き、のちに浄土宗の開祖とされた。
(2)日蓮は独自の大乘戒壇の創設を目ざしたが、南都の諸宗から激しい反対を受けたため、『顕戒論』を著して、これに反論した。
(3)臨済宗を開いた栄西は、旧仏教側の禅宗への非難に対して、『興禅護国論』を著して禅宗の本質を説いた。
(4)曹洞宗を開いた道元は、坐禅の中で師から与えられる問題を一つ一つ解決する公案問答によって、悟りに達することができるとした。

問8 下線部⑧に関する記述として適切でないものを、次のうちから選べ。

- (1) 伏見天皇の皇子である尊円入道親王は青蓮院流の書道を創始した。
- (2) 禅宗様を用いて、三十三間堂（蓮華王院本堂）が建立された。
- (3) 重源は大仏様によって東大寺の再建を進めた。
- (4) 尾張の瀬戸焼をはじめ、各地で陶器の生産が発展した。

問9 下線部⑨に関して、北条時宗の招きで来日し、鎌倉に円覚寺を開いた僧侶を、次のうちから選べ。

- (1) 一山一寧
- (2) 蘭溪道隆
- (3) 無学祖元
- (4) 虎関師錬

D 室町幕府は⑩臨濟宗を保護して、五山の制度を整えた。五山では、漢詩文を中心とした⑪五山文学が栄えた。この文学が最盛期を迎えたのは、⑫北山文化の頃であった。

問10 下線部⑩に関して、臨濟宗の中には、室町幕府の保護・統制下になく、林下として自由に民間布教などの活動を行った寺院があった。それらの寺院のうち、一休宗純が住持であった寺院を、次のうちから選べ。

- (1) 天竜寺
- (2) 大徳寺
- (3) 南禅寺
- (4) 妙心寺

問11 下線部⑪に関して、絶海中津とともに五山文学の双璧と称された禅僧を、次のうちから選べ。

- (1) 高弁
- (2) 如拙
- (3) 周文
- (4) 義堂周信

問12 下線部⑫に関する記述として最も適切なものを、次のうちから選べ。

- (1) 金閣は、寝殿造風に和様を折衷した、この文化を代表する建築物である。
- (2) 竜安寺石庭に代表されるように、禅宗寺院などの作庭に枯山水が導入された。
- (3) 大和の観世座から出た観阿弥・世阿弥は、芸術性の高い猿楽能を大成した。
- (4) 慈照寺の東求堂同仁斎に見られる様式は、近代の和風住宅の原型となった。

第2問 次のA・Bの文章を読み、あとの各問いに答えよ。

A 全国統一事業に先鞭をつけた織田信長は、畿内近国の戦国大名や旧仏教勢力、①一向一揆などと争った。信長が本能寺の変で倒れたあと、後継者争いに勝ち、信長の全国統一事業を継承したのが豊臣（羽柴）秀吉であった。秀吉は1585年に関白となり、全国統一の仕上げに取りかかった。四国を平定した秀吉は、九州の平定に乗り出し、②領土争いを続けていた九州の戦国大名に停戦を命じ、領国の確定は秀吉に委任せよと通告した。1587年に、この命令に従わない島津氏を平定し、続いて九州の知行割りを行った。1590年には、この方式で関東・奥州も平定し、全国統一を完成した。また、これと並行して、③秀吉によって二つの事業が推進され、近世社会の基盤が創出されていった。

徳川家康は、秀吉の死後、関ヶ原の戦いに勝利を収めて、全国の統治者としての地位を固め、1603年には征夷大將軍に任じられて、④江戸に幕府を開いた。家康は自ら大名知行を行い、幕藩体制の仕組みを整えた。2代將軍の秀忠は、⑤大坂の役の直後の1615年に大名や朝廷などを統制する法令を定めて、幕藩体制の秩序維持の根幹とした。次いで、3代將軍の家光は参勤交代を大名統制の基礎として制度化した。また、家光は幕藩体制の安定のため、⑥鎖国の状態をつくり出した。

問13 下線部①に最も関係の深いものを、次のうちから選べ。

- (1) 京都の町衆 (2) 石山本願寺 (3) 比叡山延暦寺 (4) 京都の南蛮寺

問14 下線部②に該当するものを、次のうちから選べ。

- (1) 禁教令 (2) 海賊取締令 (3) 人掃令 (4) 惣無事令

問15 下線部③に関する記述として最も適切なものを、次のうちから選べ。

- (1) 二つの事業とは、身分統制令と寺請制度のことである。
(2) 二つの事業とは、田畑永代売買の禁令と太閤検地のことである。
(3) 二つの事業とは、刀狩と太閤検地のことである。
(4) 二つの事業とは、寺請制度と刀狩のことである。

問16 下線部④の背景として最も適切なものを、次のうちから選べ。

- (1) 徳川家康は東海地方から関東地方に転封されて、領地経営に成功した。
- (2) 徳川家康は後北条氏を打ち破って、関東一円を領地とした。
- (3) 徳川家康は畿内から関東地方に転封されて、領地経営に成功した。
- (4) 徳川家康は武田氏を打ち破って、関東一円を領地とした。

問17 下線部⑤に該当しないものを、次のうちから選べ。

- (1) 禁中並公家諸法度 (2) 一国一城令 (3) 武家諸法度 (元和令)
- (4) 諸社禰宜神主法度

問18 下線部⑥に関して、次の a ~ c の事項を年代の古い順に正しく並べたものを、あとのうちから選べ。

- a. ポルトガル船の来航禁止 b. 日本人の海外渡航と帰国の全面禁止
- c. スペイン船の来航禁止

- (1) a → b → c (2) b → a → c (3) b → c → a (4) c → b → a

B 4代将軍の徳川家綱は、会津藩主の保科正之らの補佐を受けて政治を行い、⑦それまでの武断政治の弊害を改めた。次の5代将軍の綱吉は、自らの将軍就任に功のあった堀田正俊を大老に任じて、⑧「天和の治」を推し進め、忠孝や礼儀を重視する方針をとった。幕府財政が極端な支出超過となる中で、勘定吟味役を新設し、直轄領の年貢の出納などを監査させ、幕府財政の監察にも当たらせた。その一方で、綱吉は⑨極端な動物愛護の法令を何度も出し、そのため庶民は大いに迷惑した。堀田正俊が暗殺されたのち、側用人に登用された柳沢吉保が綱吉を補佐したが、幕府財政の危機は深まり、その打開策として行われた⑩元禄の貨幣改鑄も物価騰貴を引き起こしてしまった。⑪6代将軍の家宣、7代将軍の家継の時代に行われたいわゆる「正徳の政治（正徳の治）」は、綱吉の時代の政治を修正し、刷新をはかろうとしたものであった。

問19 下線部⑦に関する記述として最も適切なものを、次のうちから選べ。

- (1) 大名の妻子の帰国を黙認した。
- (2) 大名の改易・減封を廃止した。
- (3) 大名の末期養子の禁止を緩和した。
- (4) 大名の参勤交代の義務を緩和した。

問20 下線部⑧の具体例として最も適切なものを、次のうちから選べ。

- (1) 綱吉は日光東照宮を建てさせ、家康を東照大権現としてまつた。
- (2) 綱吉は江戸の湯島に聖堂を建てるとともに、林鳳岡（信篤）を大学頭に任じた。
- (3) 綱吉は京都の伊藤仁斎を支援し、古義堂を建てさせた。
- (4) 綱吉は林羅山を侍講に任じ、江戸の上野に弘文館を建てさせた。

問21 下線部⑨に該当するものを、次のうちから選べ。

- (1) 海舶互市新例
- (2) 儉約令
- (3) 生類憐みの令
- (4) 己酉約条

問22 下線部⑩を綱吉に進言した勘定吟味役を、次のうちから選べ。

- (1) 松平信綱
- (2) 間部詮房
- (3) 本多正信
- (4) 荻原重秀

問23 下線部⑪に関する記述として適切でないものを、次のうちから選べ。

- (1) 牢人の取締りが緩和され、殉死が禁止された。
- (2) 新たに閑院宮家が創設され、幕府と天皇家との結びつきが強化された。
- (3) 朝鮮通信使の待遇が簡素化された。
- (4) 朱子学者の新井白石が6代将軍の家宣と7代将軍の家継を補佐して政治を行った。

第3問 次のA・Bの文章を読み、あとの各問いに答えよ。

A 日本では、1880年代頃から①軽工業を中心に産業革命が始まり、日清戦争後には、軽工業を中心として資本主義が本格的に成立した。②重工業においても官営事業を中心に造船業や製鉄業が成長し、日露戦争後には政府の保護のもと民間の重工業も発達した。そうした中で、日本社会には急激な変化がおこり、③さまざまな社会問題や労働問題が発生し、社会運動が展開される背景となった。また、農村では、資本主義の本格的な成立を受けて、④農業経営と農村構造の変貌が明らかになっていった。

問24 下線部①に関する記述として最も適切なものを、次のうちから選べ。

- (1) 渋沢栄一らが設立した大阪紡績会社によって、紡績業での機械制生産が拡大した。
- (2) 紡績業や鉱業の分野での企業勃興は1880年代に始まったが、鉄道は不振であった。
- (3) 製糸業では、器械製糸に代わって座繰製糸が長野県・山梨県などで普及した。
- (4) 鉱業では、官営の三池炭鉱が住友に払い下げられた。

問25 下線部②に関する次のa・bの記述の正誤の組合せとして最も適切なものを、あとのうちから選べ。

- a. 官営八幡製鉄所は、イギリスの技術を導入して設立され、清国の大冶鉄山や福岡県の筑豊炭田などから原料を調達した。
- b. 三菱長崎造船所は、造船奨励法による助成金も受けて、急速に成長した。

- (1) a－正 b－正 (2) a－正 b－誤
- (3) a－誤 b－正 (4) a－誤 b－誤

問26 下線部③に関する記述として適切でないものを、次のうちから選べ。

- (1) 繊維産業における女工の労働環境は劣悪で、低賃金・長時間労働であった。
- (2) 社会民主党の内部では、議会政策派と直接行動派との抗争がおこった。
- (3) 政教社の雑誌『日本人』は、長崎の高島炭鉱における労働者の惨状を報じた。
- (4) 足尾銅山における精錬事業により、渡良瀬川の流域に鉱毒被害が生じた。

問27 下線部④に該当する事項を、次のうちから選べ。

- (1) 桑や菜種栽培の拡大
- (2) 小作料の一律金納化
- (3) 農業協同組合の設立
- (4) 寄生地主・地方名望家の成長

B 明治政府による当初の文化政策の柱は、文明開化と富国強兵とを担うべき人材の育成であった。まず、その前提として、⑤国民教化のための宗教的・精神的支柱を確立することが目ざされ、次いで⑥国民教育のための制度の整備が行われた。そうした中で、欧米文化の受容が進み、明治時代中期には⑦思想・科学などの分野で多くの成果が生まれた。また、文学においても、戯作文学や政治小説に続いて、⑧人間の内面や世相を客観的・写實的に描くことが提唱され、日清戦争前後にロマン主義文学が盛んになり、日露戦争前後には社会と人生の実相を描写する文学も成長した。また、⑨建築・絵画・彫刻などの分野でも、注目すべき業績が多く現れた。

問28 下線部⑤に関する次の a・b の記述の正誤の組合せとして最も適切なものを、あとのうちから選べ。

- a. 神道の国教化を宣揚するため、大教宣布の詔が、天皇の名で神祇官から出された。
- b. 江戸時代以来広く見られた神仏分離を再確認するため、神仏分離令が出された。

- (1) a－正 b－正
- (2) a－正 b－誤
- (3) a－誤 b－正
- (4) a－誤 b－誤

問29 下線部⑥に関連して、次のア～エは国民教育などのための制度に係りのある史料であるが、それぞれ何の一節か。その組合せとして最も適切なものを、あとのうちから選べ。

- ア．されば賢人と愚人との別は学ぶと学ばざるとに由て出来るものなり。
- イ．戦後日尚浅ク庶政益々更張ヲ要ス。宜ク上下心ヲ一ニシ忠実業ニ服シ勤儉産ヲ治メ、惟レ信惟レ義、醇厚俗ヲ成シ華ヲ去リ実ニ就キ荒怠相誠メ自疆息マサルヘシ。
- ウ．自今以後、一般ノ人民……必ス邑ニ不学ノ戸ナク、家ニ不学ノ人ナカラシメン事ヲ期ス。
- エ．爾臣民、父母ニ孝ニ兄弟ニ友ニ……常ニ国憲ヲ重シ国法ニ遵ヒ、一旦緩急アレハ義勇公ニ奉シ以テ天壤無窮ノ皇運ヲ扶翼スヘシ。

- (1) ア-学制の一節 (2) イ-『学問のすゝめ』の一節
(3) ウ-戊申詔書の一節 (4) エ-教育に関する勅語（教育勅語）の一節

問30 下線部⑦に関する記述として適切でないものを、次のうちから選べ。

- (1) 無教会主義を説いた新渡戸稲造は、日露戦争には非戦論を唱えた。
(2) 徳富蘇峰は雑誌『国民之友』を創刊し、平民的欧化主義を提唱した。
(3) 北里柴三郎は破傷風菌の純粹培養に成功した。
(4) 長岡半太郎は原子構造の研究に寄与した。

問31 下線部⑧に関して、こうした傾向の作家と、その作品との組合せとして最も適切なものを、次のうちから選べ。

- (1) 森鷗外-『舞姫』 (2) 幸田露伴-『金色夜叉』
(3) 二葉亭四迷-『浮雲』 (4) 尾崎紅葉-『五重塔』

問32 下線部⑨に関して、辰野金吾が設計した建築物を、次のうちから選べ。

- (1) ニコライ堂 (2) 東京駅 (3) 赤坂離宮 (4) 鹿鳴館

第4問 次のA・Bの文章を読み、あとの各問いに答えよ。

A あるプロ野球球団の応援歌にもなっている『東京音頭』は、1933年に発表された。この年、この歌は大流行し、人々は輪になって踊り狂ったり、また、おもちゃのヨーヨーに夢中になるなど、奇妙な社会現象が見られた。こうした現象は、国家の重圧からの無意識的な逃避ではないかともいわれているが、当時の政治や外交状況はどのようなものであったのだろうか。

1933年は、日本の行く末に大きくかかわってくる選択が行われた年であった。2月の国際連盟の臨時総会において、①満州における日本の軍事行動に対して、②リットン調査団の報告書に基づく勧告案が採択されると、日本全権団は総会から退場した。そして3月、日本政府は国際連盟に脱退を通告した。この脱退の発効が、2年後の1935年3月であり、また、ワシントン・ロンドン両海軍軍縮条約が1936年末で期限満了となることから、軍部を中心に「1935・36年の危機」が叫ばれた。そのため、③政府は思想統制を強化するようになった。このことと『東京音頭』やヨーヨーの大流行との関連性が指摘されている。この『東京音頭』の流行について、幕末の「ええじゃないか」になぞらえて、「昭和の『ええじゃないか』」と呼ぶ人もいる。

問33 下線部①に関する記述として最も適切なものを、次のうちから選べ。

- (1) この軍事行動の背景には、金融恐慌の影響を受けた満鉄経営の悪化があった。
- (2) この軍事行動の計画を立てたのは、関東軍参謀の石原莞爾らであった。
- (3) この軍事行動は、1931年9月18日の盧溝橋付近での鉄道線路爆破から開始された。
- (4) この軍事行動に呼応して、日本国内でも、井上日召らによる十月事件が起こった。

問34 下線部②に関する記述として適切でないものを、次のうちから選べ。

- (1) 蔣介石が、日本の軍事行動を国際連盟に提訴したことから、調査団が派遣された。
- (2) 報告書は、日本の満州における権益を否定し、日本軍の満州からの撤兵を求めた。
- (3) 勧告案は、圧倒的多数で可決され、反対票を投じたのは日本だけであった。
- (4) この時の日本全権代表は松岡洋右であった。

問35 下線部③に関して、1933年におこった思想統制に該当する事件を、次のうちから選べ。

- (1) 森戸事件
- (2) 人民戦線事件
- (3) 滝川事件
- (4) 矢内原事件

B 毎年暮れになると、その年に流行^{はや}った言葉、流行語が話題になる。流行語の中には、意味不明ですぐに忘れ去られてしまうものもあるが、その時代の状況や雰囲気を的確に表現した優れたものも少なくない。例えば、1940年に流行った「バスに乗り遅れるな」もその一つであるが、この言葉を切り口に1940年前後の歴史を見てみたい。

1939年9月、ドイツがポーランドに侵攻したことをきっかけに第二次世界大戦が始まった。この時、阿部信行内閣や次の米内光政内閣は、大戦への不介入の方針をとった。ところが、ドイツが1940年5月にオランダを、同年6月にフランスを降伏させ、ヨーロッパで圧倒的に優位になると、これを好機として、ドイツとの同盟を求め、声援が、「バスに乗り遅れるな」を合言葉に再び陸軍を中心に台頭した。ドイツとの提携を強化する考えは、以前から存在していたが、④平沼騏一郎内閣の退陣により一時下火となっていたのである。この同盟に反対してきた米内内閣は、⑤軍部大臣現役武官制を利用した陸軍による倒閣運動により倒れた。陸軍は⑥新体制運動を提唱していた近衛文麿に期待していたのである。第2次近衛文麿内閣は、ドイツに降伏したフランスやオランダの植民地を日本の影響下に置くため、1940年9月に⑦北部仏印に進駐し、アメリカを仮想敵国とする日独伊三国同盟を締結した。このことは、日本とアメリカ・イギリスとの対立を決定的なものとした。

1941年4月以降、日米衝突を回避するため、⑧日米交渉が行われた。この交渉は、日米諒解案をもとに行われたが、松岡洋右外相の反対にあった。そのため、近衛内閣は総辞職し、松岡を外相からはずした上で、近衛は第3次内閣を組織し、交渉を続けた。しかし、交渉途中から加わった、日独伊三国同盟の調印者でもある元駐独大使の来栖三郎の言をまつまでもなく、日独伊三国同盟が問題となり、東条英機内閣の時、太平洋戦争が勃発した。

問36 下線部④に関する記述として適切でないものを、次のうちから選べ。

- (1) この内閣が成立した時にはすでに、日独伊三国防共協定が成立していた。
- (2) この内閣の時に、張鼓峰事件がおこって、日ソ両軍が衝突した。
- (3) この内閣の時に、国家総動員法に基づいて国民徴用令が出された。
- (4) この内閣は、独ソ不可侵条約の締結を受け、退陣した。

問37 下線部⑤の制度が復活した時の内閣を、次のうちから選べ。

- (1) 広田弘毅内閣 (2) 第1次近衛文麿内閣
- (3) 岡田啓介内閣 (4) 林銑十郎内閣

問38 下線部⑥に関して、第2次近衛文麿内閣の時には新体制運動が展開された。この運動に関する記述として最も適切なものを、次のうちから選べ。

- (1) 戦場の労苦をしのぶため、毎月1日が興亜奉公日と定められた。
- (2) 商工省と企画院、陸海軍の一部を統合した軍需省が創設された。
- (3) 大政翼賛会が結成され、立憲政友会などの政党がこれに同調して解党した。
- (4) 東亜新秩序声明を出して、「東亜新秩序建設」をうたった。

問39 下線部⑦ののち、太平洋戦争勃発までの間の出来事として最も適切なものを、次のうちから選べ。

- (1) 日本の南部仏印進駐を受けて、アメリカは日米通商航海条約の破棄を通告した。
- (2) 東京で大東亜会議が開かれ、大東亜共栄圏の建設について話し合われた。
- (3) 独ソ戦の勃発を受けて、満州で関東軍特種演習（関特演）が行われた。
- (4) 挙国一致・尽忠報国・堅忍持久をスローガンに国民精神総動員運動が開始された。

問40 下線部⑧に関して、1941年11月26日にアメリカのハル国務長官から出された提案は、日本への最後通告に等しいものであった。このハル＝ノートと呼ばれる提案が日本に要求した内容として適切でないものを、次のうちから選べ。

- (1) 中国・仏印からの日本軍の撤退
- (2) 日独伊三国同盟の実質的廃棄
- (3) 満州国・汪兆銘政権の否認
- (4) 中国を日中戦争以前の状態に戻すこと

